

## 平成30年度東日本大震災アーカイブシンポジウム －震災の記録を伝える～自然災害と防災教育－

### 開催のお知らせ

平成30年は、集中豪雨、台風、地震と激甚災害に指定される自然災害が多く発生した1年でした。災害の報道において、過去の災害の記録と比較されると同時に、これまでの災害の記録を知ることが減災につながると伝えられました。私たちは、東日本大震災に関する記録を収集し、震災アーカイブを構築する等で、未来につなげるための活動を行っています。

本シンポジウムでは、第1部で「緊急報告」として、大阪府北部の地震、北海道胆振東部地震の被災状況を紹介しながら震災記録の収集等における初動対応について報告します。第2部では、震災アーカイブと防災学習に焦点を当て、利用する側と提供する側のそれぞれの立場からの事例報告を行い、第3部では、震災の記録を伝えること、防災学習等に活用することの重要性と課題について議論します。

#### ○日時及び会場

日時：平成31年1月11日（金） 13:00～16:30（開場 12:30～）

会場：東北大学災害科学国際研究所棟1階多目的ホール

（宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉 468-1）

#### ○申し込み方法

(1)定員：200名（先着順。定員に達した時点で申込受付を終了します。）

(2)参加費：無料

(3)申込み：下記URLのシンポジウム案内にある申込みフォームからお申込みください。

<http://shinrokuden.irides.tohoku.ac.jp>（みちのく震録伝）

問合せ先：

東北大学災害科学国際研究所 情報管理・社会連携部門 災害アーカイブ研究分野

担当：土屋、柴山

電話番号：022(752) 2099

E-mail アドレス：archiveforum@irides.tohoku.ac.jp

## ○プログラム

### 第1部

●緊急報告 大阪府北部の地震、北海道胆振東部地震の状況と震災アーカイブ  
～アーカイブの初動対応とは

「災害記録の発展的継承を考える－国立民族学博物館（みんぱく）の活動を通じて－」  
林勲男（国立民族学博物館学術資源研究開発センター教授）

「近年の自然災害からわかる自然災害アーカイブの重要性～北海道胆振東部地震の調査からわかったこと～」

柴山明寛（東北大学災害科学国際研究所准教授）

### 第2部

●震災の記録と防災学習

「多賀城高校が取り組む防災・減災学習」  
佐々木克敬（宮城県多賀城高等学校校長）

「いわて震災津波アーカイブと防災学習」

多賀聡（岩手県復興局復興推進課推進協働担当課長）

「使ってみよう！国立国会図書館東日本大震災アーカイブ（ひなぎく）」

伊東敦子（国立国会図書館電子情報部主任司書）

### 第3部

●パネルディスカッション

「震災の記録を伝える～自然災害と防災教育」

上記報告者全員